



# ウキゴリ号

## 《私が子どもだった頃》 尾池実<sup>まこと</sup>

はじめましての方も多いと思いますが熊本在住の高2<sup>こうに</sup>です。小6まで侍従会に参加して  
いました。

引っ越す前、山田<sup>やまの</sup>さんから『侍従会熊本支部長』という思いつき・・・いやいや、立派な  
役職<sup>やくしやく</sup>をもらった僕は、これからも生き物の活動を続けていこうと、熊本での生活を始めま  
しましたが、しばらくして僕はさっそくホームシックならぬ『侍従会シック』になってしま  
いました(笑)。その時は会報を見るのすら辛かったです。熊本にある、侍従会のような団体に  
入ってみましたが、あまりしっくり来ず、結局行かなくなりました。

そこで初めて侍従会のスゴさを思い知った気がします。同年代の友達も大人の皆様もユ  
ニークな人ばかりで、そんな人達と交流するのが何よりも楽しかったです。

思い出の中でもかなりぶっ飛んでいるのが野島のキャンプのテントの中でのことです。  
みんなでセミのサナギを20匹ほど連れてきてテントの内側にはりつけて、夜に羽化させ  
ようということになりました。結果大半が羽化し  
て大成功に終わりました。頭上でセミがどんどん  
羽化していく光景は今でも頭に焼き付いていま  
す。今考えると、小学生だからこそその発想ですね。



### ウキゴリ (浮鮎)

学名 : *Gymnogobius urotaenia*

河川では汽水域から中流域に生息する。若い時は中層を浮くように泳ぐ事があるので、「浮き・ゴリ(カジカやハゼの仲間の総称)」と言うのが名前の由来。

鱗が細かく、触るとヌレツとしている。

繁殖期は春で、転石の下などに産卵する。侍従川では2月下旬頃から卵塊とそれを守る親を観察することが出来る。

深沢大地

秋の森探検では、一度キノコ狩りをした記憶があります。キノコにとっても詳しい飯村さんに、採ったキノコを判別していただいたおかげで、安全でおいしいキノコを食べることができました。森の中で、キノコを探していると向こうの方から「お前これどこで見つけた!？」という飯村さんの声が聞こえてきました。駆けつけるとそこには直径15センチほどのタマゴタケ(うる覚え)がはえていました。デカイ・・・。

探検に参加していたある少年が見つけたものでした。もちろんそれも後でおいしくいただきました。

佐野さん(サノシン)から、山田さんも川に引きずり込まれそうになったという伝説(?)のシャープカツパモドキの話聞いたのもいい思い出です。(僕、未だに信じてますよ☆)

普通に生活していれば、限られた人とししか関わらないような年齢で、あらゆる世代の人たちと交流できたことが、自分の中で生きてるなあ最近感じます。

かなり長い間、侍従会の活動に参加できていませんでしたが、このような形でまた関わることができて、とても嬉しく思っています。侍従会メンバーの皆様、いつか絶対に会いに行きますので、そのときはよろしくお願いします!

(おわり)

## 日本生態学会 in 東京大会

2017年3月18日、学生部が日本生態学会 東京大会の高校生ポスターで発表をしてきました。今年の高中生ポスターは、全52団体が発表したそうです。

侍従会のポスターには、お客さんが絶えず来てくださり、たくさんの人に紹介することができました。最後の受賞式では、「ナチュラルヒストリー賞」をいただきました。



発表風景 (高橋一太)



ポスター発表会場の様子



発表風景 (重田優香)



侍従会のポスター





# 侍従川流域におけるヤマアカガエルの産卵状況の調査(2017)

学生部



ヤマアカガエルは1月から3月頃にかけて田んぼや池、水溜りなどに卵を産みます。かつて侍従川流域ではいくつか産地がありましたが、近年は激減しています。

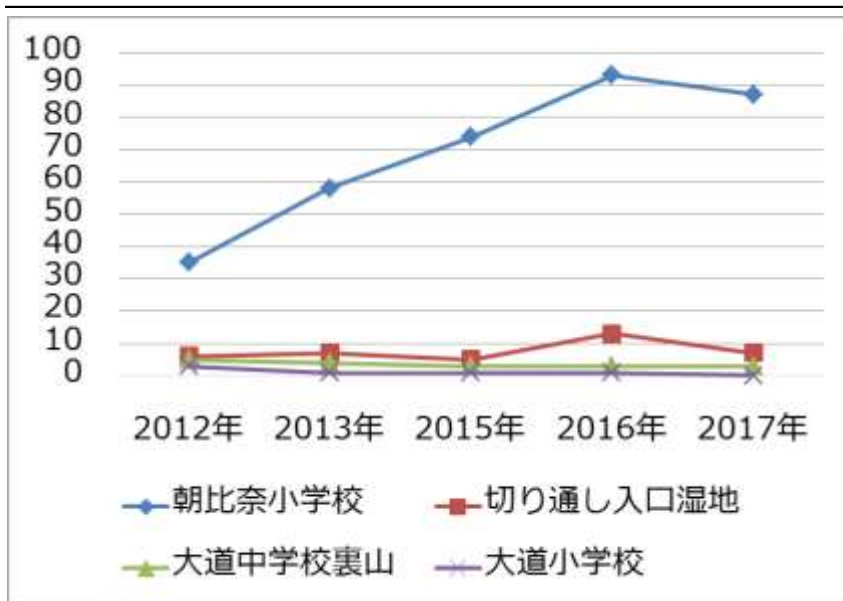
今回は前年の調査結果と比較してご紹介します。

表1. 2015年のヤマアカガエルの産卵状況

日付	地名	♂の個体数	♀の個体数	卵塊数	確認者名	備考
170212	朝比奈小学校	1	-	56	佐野	
170213	大道小学校	-	-	0	事務局	
170226	大道中学校裏山	-	-	3	学生部	
170226	切り通し入口湿地	-	-	7	学生部	湿地は干上がり、すべて水路で確認
170312	朝比奈小学校	-	-	31	佐野	ビオトープで29卵塊、コンクリ池で2卵塊確認
170312	大道小学校	-	-	0	佐野	

表2. 生息地4ヶ所の産卵数の変遷

	2012年	2013年	2015年	2016年	2017年
朝比奈小学校	35	58	74	93	87
切り通し入口湿地	6	7	5	13	7
大道中学校裏山	5	4	3	3	3
大道小学校	3	1	1	1	0



侍従川流域のヤマアカガエルの産卵は、4カ所で確認されています(表1)。しかし、朝比奈小学校以外の3ヶ所では減少が著しい状況です(図1)。特に大道小学校では、2017年の調査では確認することができませんでした(表2)。

また、切り通し入口湿地も近年は干上がることが多く減少の原因になっていると思われます。現在はコンクリートの水路で産卵が確認されていますが減少しています。

図1. 生息地4ヶ所の産卵数の変遷

## 冬の森たんけん

12月10日(土) 9:00~

【活動報告1】

山田陽治

12/10(土)に「冬の侍従川源流の森探検」が行われました。大道小学校を出発して、しばらく車道沿いを歩きますが、朝夷奈切り通しに入ると山道になります。入ってすぐのところにアリジゴク(ウスバカゲロウの幼虫)がいました。

切り通しを越えたところにある三郎の滝(滑川源流域)で水辺の生きもの観察もしました

アオキの実とばしや篠竹のブーブー笛などで遊んだりしながら山道を歩いて、十二所果樹園に到着…昼食&休憩タイムです。

午後、弓矢を作ったり、フユイチゴの実を食べたりと、一日目一杯冬の森で遊びました。

皆さま、お疲れ様でした。



### トピックス

3/5(日) 大道中学校ホタル生息地環境整備作業

通称 大道溪谷の中に生える樹木の伐採と藪の伐採と小さな谷戸の整備と流れの確保を行いました。

作業参加者は、西澤さん、村田さん、細川さん、石渡さん、小坂さん、佐野くん、深沢くん、佐藤みつくん、山田でした。お疲れ様でした。





## 12月定例クリーンアップ

【活動報告2】

12月25日(日) 9:00~10:30 曇り

細川一雄

実施内容：朝比奈橋～大道橋～大道東橋（土嚢袋5袋分回収）。1m×2mのトタン板  
参加者：長野政治、中山吉雄、西澤博厚、中村健二、長橋輝明、角田繁、村田章夫、関場  
俊子、外川忠志、高橋のりみ、山田陽治、柴田繭子、柴田真菜（小5）、柴田幸成（年長）、  
貞廣守保（小4）、水野公秀、水野秀昭（小3）、佐藤弥粹（小6）、今井康祥、今井幸子、  
今井翔太（小5）、今井はるか（小2）、小川和美、小川翔太（小5）、金澤由香、金澤喜  
乃（小6）、金子英司、深沢大地（高1）、高橋一太（中1）、細川一雄（計30名）

クリーンアップ当日は日曜日でしかもクリスマスです。それにも関わらず多くの方が参  
加してくれました。有難うございます。12月になっても20℃近い日が続くなど天候が  
どうも不順で、これも地球温暖化の影響なのかと思ってしまう。また、今回は今年最  
後のクリーンアップです。作業終了後に甘酒を作ってご馳走していただけるとの話が有り  
ましたので、早く作業を終わらせようといつもより早めに出発しました。

草も殆ど枯れていて、草の間に隠れていたゴミも探しやすくなり、清掃作業は順調に進みました。中流域に下つてくると、加倉橋と山王橋の間に大きなトタン板が落ちていました。巾が半間（90cm）、長さが1間（1.8m）の大きさであちこちに釘が出ていました。多分先日の強風で屋根か塀に打ち付けてあったトタン板が飛ばされてきたものと思います。釘に刺されないように注意して回収し、刺さっていた20本近い釘を抜いておきました。

また、久しぶりに公務の合間を縫って横浜市議会議員の高橋のりみさんが参加してくれました。来るたびにお金を拾ったり、転んだりと何かと話題を作ってくれるのですが、今回は無事に作業を終えました。その後会議が有るという事であわてて帰って行きました。また、何時も青木橋上流のコンクリートから油がにじみ出ているのが気になります。

ちとせ園に着くと下流の子ども達も順次到着していました。さらに、公園内には甘酒の匂いが立ち込めていました。早速ご馳走になりました。とても美味しかったです。子ども達にはお菓子も食べてもらい1時間ほど談笑してから解散しました。今年一年間参加していただき有難うございます。来年も宜しくお願い致します。



地蔵前橋下で上流に向かうメンバー達（前面高橋市議）



回収した5袋分のゴミとトタン板

# ネイチャークラフト教室 ～つるでかご作り～

1月6日（土）9：00～15：00

【活動報告3】

豊田あかり

年明け間もない1月最初の土曜日、山田さんご指導のもと、つるかご作りをやりました。

よく晴れた朝、みんなで小学校に集まって出発しました。途中、侍従川にボラの赤ちゃんがスイミーみたいに大きな群れを作って泳いでいる様子を見たり、すぐそばでカワセミが休んでいるのを見たりしながら、大道中の裏山に向かいました。

山に入ると、道の両側に転げ落ちそうなほど急な斜面が続いていますが、子どもたちはひるむことなく林の中へ繰り出していきます。木の根っこや柔らかい地面を上手く使って時々滑りながら斜面を移動し、つるを探して手繰り寄せてはくるくる巻いて集めていきます。

最終的には、車のタイヤみたいな大きさのつるの束が何個も集まりました。すると、今度はどこかから棒を見つけてきてつるの束をどんどん通し、棒の両側を前後で1人ずつ肩にかついで「えっさ」「まいさ」の掛け声で山を下りながら次の場所へ移動しました。

六浦地区センターに入って昼ごはんを食べたら、いよいよつるかご作りの開始です。

山田さんがこれまで作ってきた作品を見ながらどんなかごを作りたいかイメージを固めます。かごの作り方を聞いているとすぐに出来そうな気がするのですが、実際に取り掛かってみると「つるが固い!」とか「上と下のどっちに通すんだっけ?」などなど問題が多発。意外とつるが太かったり、すぐに切れてしまったりとなかなか思い通りになりません。





子どもも大人も皆つると格闘しながら少しずつ編み上げ、最終的にそれぞれ味のある素敵な作品がたくさん出来上がりました。

材料調達から製作まで全て手作業で行っていきながら、はしゃいだり頑張ったり真面目になったりと子どもたちが色々な表情を見せているのが印象的でした。



## 1月定例クリーンアップ

【活動報告4】

1月22日(日) 9:00~10:30 晴れ

細川一雄

実施内容：朝比奈橋～大道橋～大道東橋（土嚢袋5袋分回収）。錆びた鋤（スキ）の頭部、洗面器等

参加者：長野政治、長橋輝明、西澤博厚、中村健二、角田繁、村田章夫、関場俊子、小坂信房、山田陽治、平川美央、柴田繭子、柴田真穂、柴田真菜（小5）、柴田幸成（年長）、今井康祥、今井幸子、今井翔太（小5）、今井はるか（小2）、金澤由香、金澤喜乃（小6）、高橋一太（中1）、林正隆、林叶恵（小4）、林正朗（小2）、横山渉、横山宗一郎、大石剛司、深沢大地、細川一雄（計29名）

この冬最強の寒波が過ぎ去って、少し寒さが弱くなった今年最初のクリーンアップです。寒い中参加していただいた皆さんに温かいおでんをご馳走しようと、あちこちのスーパーの特売日におでんの具を仕入れてきました。前日から下ごしらえをして煮込んでおいたおでんをコンロにセットして作業を開始しました。

上流域には大きなゴミは落ちていませんでしたので、いつもは満杯になる土嚢袋が今回は半分にもなりません。草がなくなったのでゴミがそのまま下流方面に流されてしまったのでしょうか？。また、中流域は治水事務所が草刈りを行なった様で、枯れ草が綺麗に刈り取られていました。大道東橋の近くにボラの大群が遡上してきて子ども達が大騒ぎをして捕まえていたようです。めったにない経験ができて喜んでいました。



ブックオフの下の清掃

また、昨年の19日に侍従川沿いに30枚のポスターを取り付けましたが、年末から年始に掛けて、何者かがニッパーの様な物で結束バンドを切りポスターを外して川に捨てたりどこかに持って行ってしまいました。

12月30日：大道東橋近辺の3枚不明。

12月31日：六浦二号橋～大道橋間の10枚が無くなっていた（7枚は川の中に棄てられていた→回収）。大道交番に被害届のため相談。

1月2日：諏訪の橋～汐見橋間の3枚のポスターも無くなっていた。

1月4日：中野橋のポスターの結束バンドが切られていたが、一箇所が数ミリ残っていてポスターが外されずに残っていた。

1月5日：残っているポスター7枚を補強（結束バンドの数を増やし、ニッパーが簡単にバンドに届かないようにガムテープで結束バンドを覆った。

1月12日：ポスターの補強。自転車のワイヤー錠をポスターに取り付け。ハンガー様の太い針金でポスターをフェンスに固定。

1時間ほど作業をしてちとせ園に戻ると、おでんがほぼ出来上がっていました。作業を終えて戻ってきた人から順番におでんを食べて温まってもらいました。また柴田さんが手作りのたくあんを差し入れてくれましたので早速ご馳走になりました。とても美味しかったです。子ども達にはお菓子も食べてもらい1時間ほど談笑してから解散しました。

本年も宜しくお願い致します。イベントも色々計画しますので掃除を楽しんでやっていきましょう。



12月、1月分の回収ゴミ  
(土嚢10袋)

### <<情報提供のお願い>>

昨年末から今年の初めに掛けて、私たちが作成し、侍従川沿いの橋やフェンスに取り付けたポスター20枚以上が、何者かによって盗まれたり、外されて川に棄てられていました。これは明らかに私たちに対する嫌がらせであり、犯罪行為です。

夕方が夜間に侍従川沿いを歩いたりして、ポスターを外している犯人を見たり、聞いたりしたら是非情報の提供をお願いします。犯人逮捕のきっかけになればと思いますので、どんな情報でも結構です。

なお、警察には盗難・器物破損事件として連絡済です。

連絡先：清掃担当 細川 090-2724-4439

## ゴミを捨てないで!

侍従川には色々な生き物があります。生き物が棲みやすい環境を守りましょう。



★あなたも侍従川の清掃活動に参加しませんか??★

実施日：毎月第4週目の日曜日 午前9時～11時

(雨天時は翌週に順延します。時間は同じ)

集合場所：千歳園(大道緑地公園) →右図参照

(県営住宅そばの「二の橋」横の公園)

★汚れても良い服装で長靴を持参下さい。

(貸与できる長靴が多少有ります。)

(水深は30～40cmです)

問合せ：清掃担当 細川 電話：090-2724-4439



主催：ふるさと侍従川に親しむ会

「侍従川をもう一度子供たちが遊べる川に。」



## 2月定例クリーンアップ

【活動報告5】

2月26日(日) 9:00~10:30 晴れ

細川一雄

実施内容：朝比奈橋～大道橋～大道東橋（土嚢袋11袋分回収、大きなバッグ、発泡スチロールの箱）

参加者：長野政治、中山吉雄、西澤博厚、中村健二、角田繁、石渡博、小坂信房、石塚正夫、長橋輝明、関場俊子、関場彩莉、関場れい、山田陽治、今井康祥、今井幸子、今井翔太（小5）、今井はるか（小2）、大石剛司、金澤由香、金澤喜乃（小6）、横山渉、横山わかな、横山宗一郎、林正隆、林正朗（小2）、金子英司、深沢大地、柴優里（小6）、貞廣守保（小4）、細川一雄（計30名）

2月6日に自転車（二の橋下流。長島橋下流に廃棄されていた）を2台引上げて大道交番で調査をしてもらったら、盗難届けが出ていないので、交番から金澤土木に連絡して処理してもらおう事にしました。1台は関東学院大学の駐車票が貼ってあり、他の1台は関東学院大学六浦中学・高等学校の駐車票が貼ってありました。

今年は、春一番、春二番、春三番まで吹きとても珍しい年とのこと。当日も風も無く温かい絶好のクリーンアップ日和になりました。川の中もまだ茶色くなっていますが所々に若芽が出てきて春は間違い無く近づいてきているなど実感させられました。

いつもの様に上流・下流の二手に分かれ作業を開始します。草も伸びていませのでゴミも見つけやすく作業がはかどります。岸から見ているとそれほどゴミが落ちているとは思いませんでしたが、実際に川に下りてみると小さなゴミが多く落ちていて屈む回数が増えます。また、暖かくてしばらくすると少し汗ばむほどです。

1時間30分ほど作業をしてちとせ園に戻り、作業が終わって戻ってきた子ども達にお菓子とジュースを配り、さらに青森県陸奥湾産のホタテ貝を焼いて味わってもらいました。皆さんお疲れ様でした。



回収した2台の自転車  
(後日金澤土木が回収)



出発前の準備風景  
(今日はいっぱい拾うぞ～)



作業風景  
(青木橋・地藏前橋)



回収した11袋分のゴミ

# ピカピカタンポポだより④

横浜市立大道小学校 鷺谷康子

## 今年も、いろいろお世話になりました。ありがとうございました。

今年度は、5月16日、10月24日そして2月13日の3回学校で「侍従川に親しむ会」の皆さまと話し合いの会をもち、話し合うことができました。代表の山田さんをはじめ、副代表の佐野さん、スタッフの河本さん、侍従川の観察や清掃でもお世話になっている細川さん、エコアップでお世話になった飯村さん、学生部の方々と、たくさんの方にご参加いただきました。学校側は、校長、副校長、主任と学校の連絡係の私です。3回目の2月には、大道村の一員で、学校コーディネーターの岡さんにも参加していただきました。

話し合った内容は、侍従川清掃のこと、侍従川との付き合い方、総合・生活科等学習への支援のこと、トンボ池の生き物のこと、エコアップの活動のこと、学校の自然の環境のことなど多岐にわたり話し合うことができました。皆さまのお話を伺うことで、いままで気が付かなかったことを教えていただいたり、これから学校としてやっていきたいことのヒントをいただいたりと、とても有意義な会になりました。また、学校のことを知っていただけたこともうれしかったです。

横浜の中でも、子どもたちの生活の中にこんなに豊かな池があり、普段からまわりで観察したり遊んだりすることができる学校は少ないと思います。そして、侍従川に親しむ会の方々、大道村の方々、地域の方、といろいろな方に支えていただいている学校も特別です。本当に感謝しています。これからも、学校の財産であるトンボ池を良い状態にしていき、さらに生き物も植物も豊かなトンボ池にしていきたいと考えています。子どもたちのために、豊かな環境の大道小学校にしていきたいです。

## トンボ池の生き物のこと

子どもたちから、トンボ池にいる生き物について聞き取りをしました。子どもたちが一番くわしく、名前は子どもたちの使っている怪しい？名前のものもありますが、「小さなトンボ池博士」たちが教えてくれました。

クロメダカ、アカメダカ、ハゼ、ヨシノボリ、クチボゾ（モツゴ）、ドジョウ、ヌマエビ、アマガエル、ヤマアカガエル、アメリカザリガニ、ミズムシ、マルタニシ、モノアラガイ、カワナ、ギンヤンマ、シオカラトンボ、アキアカネ、アメンボ、ダンゴムシ、ヒバカリ、リス、他



3月のトンボ池の様子



## 朝夷奈の森通信 ～森の忍者より～ 飯村優介

今冬は降水が少なく乾燥傾向でしたが、印象的な天気は2月10日のニワカ雪。上空寒気と気圧の谷がかさなり、雄大積雲さらに積乱雲が次々と発生し続けた。冬の青空に見事な入道雲、劇的な展開で雪空、夜は積雪となった朝比奈の山々が月光で白銀にかがやいていた。



2月10日の雪雲



ダイサギ

## 琉球生き物紀行 ～美ら島の生き物たち～ ～ フチゾリネッタイコシビロダンゴムシ ～



(撮影地：沖縄県石垣島 2013年10月)

学名：*Cударis iriomotensis* 体長：11mm 前後

分布：西表島・石垣島

前から見ると洗面器を逆さまにしたような形をしているダンゴムシで、オレンジ色の縁取りが美しい。

普段は樹上で生活していて、落ち葉の上や石の下などにいることはあまりない。

現在西表島、石垣島から見つかっているが、今後新たに生息地が発見されるかもしれない。

監修：熊井（沖縄在住）

## 北の国から ~冬の終わりの一大イベント「雁の春の渡り」の始まり~ 瀧本宏昭

やっと冬が終わる。そんな気持ちでこの原稿を書いている。

初めての北海道での冬越しは初めてづくしだった。一番印象に残っているのはやはり「雪」だ。雪が降ることで、暮らしが一変した。雨は降らなくなり、全て雪になる。そして、雪かきが日課となり、その技術はかなり向上した。さらにタイヤが滑るということが日常になり、初ホホワイトアウト（雪と強風で視界が周囲5m程になる）にも遭遇した。こんなあまり嬉しくないことがある一方で面白い発見もあった。サンタが登場する時に鈴の音は思い浮かぶだろうか。それに似た音が自然の中で聞くことができる。木の枝が氷をまとうことで、風に揺られて「シャンシャン」と鳴るのだ（写真参照）。人工的な音じゃなかったのかと感動した。

そんな、苦労と感動をした冬が、自然の一大イベントと共に終わりを告げようとしている。前回にも登場した雁の春の渡りだ。冬の間は約9割の表面が氷っているウトナイ湖だが、2月中旬ごろから溶け始める。そこに本州から北上してきたガン類が入り、ねぐらとして利用するようになる。

今年初めてねぐら入りが確認されたのは2月15日。数は約750羽。そこから日々数が増えていく。2月27日約2900羽、3月2日約7000羽。そして、この原稿を書いている3月5日約10000羽。どんどん本州から北上してくるのが分かる。秋とは違い、ウトナイ湖より北側の湖沼が溶けないと北上できないため、ウトナイ周辺の地域にたまっていくのだ。

過去に記録した10万6000羽を超える記録ができるのか。また、いつ出るのか。まだ暗い中林を抜け、朝4時半には湖岸の配置につき、数取り器を使い10羽単位でカウントしていく。慣れている人だと100羽単位で数えていくが、自分はまだ無理だ。精進せねばと思いつつ、調査を続けていく。まだ気温は低く、-5℃ほどの気温の中での調査だが、朝独特の雰囲気には魅力を感じる。



氷をまとい、ゆらすとシャンシャン鳴る枝



3/5、1万羽ガン類のねぐら立ちの瞬間全景



ズームアップ写真、黒い点は全てガン類



## 佐野真吾が語る侍従会の思い出 ～侍従会全国支部から～

「佐野真吾が語る侍従会の思い出」の連載も残すところ2回になりました。この連載を書き始めたのは2008年の3月だったので、かれこれ9年になるわけです。連載を始めて少し経った頃、改めてこれから書く連載の内容をリストアップしました。そしてその時から「～侍従会全国支部から～」については、書こうと思っていました。それは、学生部の先輩であり、生きもの屋仲間でもある熊井健さんが沖縄に移住したことや、私が19歳の頃衝撃的な出会いをした元ジュニア会員の梅本拓実くんの存在があったからでした。遠くに行っても侍従会で出会った大切な仲間と一生付き合っていきたいですし、これからも侍従会の一員であってほしいと思います。

さて、先日、学生部の長崎くん（ミツツー）からLINEが届きました。「ねーねー？ さっきマコトくんと話していたんだけど、ダボハゼ通信に学生部で順番に思い出を連載することはできない？ 俺的には「マコトくん」が第一号で書いてもらいたいんだよね！」マコトくんとは、小学校6年生の時に熊本県に引っ越した尾池マコトくんのことです。マコトくんとミツツーは小学生時代から仲が良く、高校生になった現在でもメールやLINEで連絡を取り合っているのです。「おいしいね！ じゃあミツツーから頼んでみて？」「オッケー！ 任して！」。それから数日後、マコトくんから私にLINEが届きました。

そして、早速私からもお願いをして思い出について書いてもらうことにしました。そして書いてもらった文章を受け取ると、そこには、山田さんから「侍従会熊本支部長」に任命されたことや熊本に行った後、侍従会シックになりダボハゼ通信を見るのが辛かったことなどが書かれていました。そして文章の最後は、「いつか絶対に会いにいきますのでよろしくお願いします！」と締めくくられていました。私はマコトくんから受け取った文章を読んで、「マコトくんは本当に侍従会を大切に思っていてくれたんだなあ」と感動しました。

マコトくんの文章に感動した私は、マコトくんの原稿を表紙の「私が子どもだった頃」に載せられないかと会報担当の河本さんに相談することにしました。するとすぐに河本さんから返信をいただき、マコトくんには文章を増やしてもらって連載ではなく表紙に載せてもらうことになりました。



2010年4月 山菜パーティーにて  
マコトくん、大ちゃん、カズキ



2011年4月 野草パーティーにて  
大ちゃん、ミツツー、マコトくん

というわけで、今回のダボハゼ通信の表紙はマコトくんになったので、是非読んでいただきたいと思います。なお、マコトくんの文章の中にあるシャープカツパモドキのくだりはもちろん嘘で、純粋な子どもたちの心をもてあそんだ悪い大人のイタズラであります・・・笑

侍従会には、支部が全国にあります。マコトくんがいる熊本支部、熊井さんの沖縄支部、拓実くんの岩手支部、瀧本くん（タッキー）の北海道支部等々、皆遠くにいても侍従会のメンバーだと思っています。現在侍従会で一緒に活動している仲間ももしかしたらこれから侍従川流域の町を出て行ってしまいかもしれません。しかし、私も侍従会の他のメンバーも仲間がどこにいても侍従会の仲間だと思っていますし、皆さんもそう思っていてほしいなと思います。

## 侍従川定例調査報告 学生部

2017年2月26日（日） 9:00～10:30

【調査範囲】 泥牛橋（下流域）～大道一丁目緑地（中流域）

【確認した生物】 イシマキガイ、カワニナ、コヤマトンボ幼虫、ミゾレヌマエビ、ボラ、メダカ、スミウキゴリ、チチブ、カルガモ（目視）、ヒドリガモ（目視）、カワウ（目視）

【備考】 霞橋上流（下流域）でスミウキゴリの卵塊を5個確認しました。

ヤマアカガエルの産卵調査も同日に行われ、大道中の裏山でノウサギの糞を見つけました。



### バチ抜け観察会（2017）

3月2日(木)にバチヌケ観察会を開催しました。「前夜から降り続く雨で開催は厳しいかも…」という状況でしたが、天候が好ましくない時の様子も見てみたいという声もあり、開催することになりました。

夕方の六浦駅に集合し、右支川を観察しながら本流へ向かいました。沢山のゴカイが泳ぐ様子が見どころのバチ抜けですが、雨の影響かほとんどその姿を見ることはできず、10匹程度をバラバラに見るだけで終了となりました。





## 「平潟湾・侍従川水系における水鳥の種別個体数調査報告」

去年12月23日（金・祝）、今年の1月1日（元旦・祝）及び1月29日（日）に平潟湾・侍従川水系における水鳥の種別個体数調査を行った。調査範囲は野島の自然海浜（前浜）、野島水路、夕照橋周辺、平方橋から内川橋、京急本線鉄橋から大道小学校前である。

以下の表に各日別に調査結果を示す。今回の結果から、より具体的な目的をもって調査方法や考察の仕方を考えていけたらと思う。

月日	12月23日		1月1日		1月29日	
	種別	総個体数	種別	総個体数	種別	総個体数
1	スズガモ	479	セグロカモメ	6	スズガモ	257
2	カワウ	16	ユリカモメ	10	オオバン	140
3	ウミネコ	1	ウミアイサ	9	ハジロカイツブリ	2
4	オオバン	221	オオバン	170	カンムリカイツブリ	9
5	ハジロカイツブリ	2	アオサギ	3	ヒドリガモ	33
6	ウミアイサ	2	ヒドリガモ	49	カワウ	7
7	ユリカモメ	27	カルガモ	2	カルガモ	2
8	イソシギ	1	スズガモ	447	ウミアイサ	3
9	アオサギ	3	カワウ	7	ユリカモメ	68
10	ハクセキレイ	3	オナガガモ	6	オナガガモ	6
11	ヒドリガモ	46	カワセミ	1	コサギ	2
12	コサギ	1	コサギ	1	アオサギ	3
13	カルガモ	7	ウミネコ	1	ウミネコ	1
14	カワセミ	1	ホシハジロ	11	イソヒヨドリ	1
15	ホシハジロ	11	カンムリカイツブリ	4	ホシハジロ	1
16					キンクロハジロ	1
17					カワセミ	1



観察の様子その1



観察の様子その2



観察の様子その3



ユリカモメ



観察の様子その4



ホシハジロ



初富士



トビ



飛翔するオナガガモ



初日の出



カワセミ



ヒドリガモのつがい



飛翔するウ



スズガモの群れ



カルガモ



休憩中の水鳥

## 事務局だより

事務局 金澤由香

### ◆4月～6月の活動予定◆

☆定例クリーンアップ4/23(日)、5/28(日)、6/25(日)

9時～12時 ちとせ園集合 ※雨天延期・翌週日曜

持ち物：川に入れる格好、タオル、軍手(必要な人)、網(使いたい人…貸出あり)、  
着替え(心配な人) ※川の上からの参加でも構いません

☆4/8(土)春の草摘みと野草料理 9時大道小集合 ※雨天中止

参加費：会員無料、非会員¥500

持ち物：箸&お椀、ビニール袋、飲み物、軽食、タオル、その他

※詳細はホームページ及びメーリングリストで

■学生部の活動は追ってお知らせします。

《編集後記》今回は学生部の報告が盛りだくさんです。寒さに負けず、精力的に活動していて頼もしい限りです。(MK)

ふるさと侍従川に親しむ会

事務局：金澤 由香

TEL：090-4072-8485

e-mail：jijyukai@gmail.com